

図書館だより

附属図書館ホームページ <http://www.lib.akita-u.ac.jp/>



菅江眞澄の道を通って [22]

眞澄は三河の人。48才で弘前を出発し、鱒ヶ沢から森山近くをへて秋田に入った。以後、28年間、秋田の地誌 随筆など貴重な資料を残した。博学の人だが謎も多い。

秋田大学名誉教授 山本穆彦氏 画

目次

トップメッセージ 秋田大学附属図書館 館長 清水徹男	2
commonsをご存じですか?	3
図書館講習会のご案内	4
図書館のHPから学術情報を探せます	5
本学教職員等著作寄贈図書	6
図書館職員紹介	7
附属図書館の1年	8・9
お知らせ／編集後記	10

秋田大学附属図書館の理念

- 1 高度な学術情報の収集と公開体制を確立し、学習・教育・研究活動を幅広く支援する。
- 2 学習者・教育者・研究者及び市民の情報収集を支援し、学術研究交流の振興に寄与する。
- 3 学術情報発信拠点として大学の知的財産を社会に還元し、学術文化の発展に貢献する。

トップメッセージ

秋田大学附属図書館
館長 清水 徹男



皆様、初めまして。平成25年4月1日から附属図書館長をつとめております清水徹男と申します。大学院医学系研究科精神科学講座教授との兼務なので、普段は本道地区におります。

恥ずかしながら改装なった本館を初めて訪れたのは館長に就任した今年4月のことでした。昔の附属図書館は古い書籍の倉庫のようなイメージであり、用途のわからない個室がバラバラに配置された迷路のような構造と記憶しています。ところが、久しぶりに訪れた図書館は私の図書館に対するイメージを一新するものでした。1階のコモンズは明るく開放的なスペースとなっていて、グループで討論しながら学習する環境が整えられ、無線LANが完備し、グループ学習室や、学習個室、視聴覚ブース、飲食も可能なラウンジもあります。書庫も、すべて開架式であり、図書館のホームページを見ればどこに求める書物があるかを簡単に検索することができます。研究・学習をサポートする職員・学習サポーターも待機しています。

それからはや3月がたち、私も様々な機会をとらえて大学附属図書館について少しずつ勉強している最中です。わかったことは、現在の大学附属図書館は研究を支えるための情報の拠点であるばかりではなく、学生の能動学習の拠点として、教育の中心的な施設・組織となっているというこ

とです。

これから皆さんが一つの学期に取得する単位は減少していくはずですが、その理由はまさに単位の定義そのものにあります。1単位は45時間の学修を必要とする内容を持って構成することになっていますが、講義を例にとると授業は15-30時間を占めるのみで、残りの15-30時間は学生諸君が自ら学修することになっています。とくに、授業の前提となる予習が重要になると思います。学生は与えられた課題を予習して授業に臨み、講義はその知識を前提として学修者の疑問点をもとに討論で課題の内容をさらに深めて発展させていく場になっていくでしょう。ハーバード大学サンデル教授の公開講義「これからの正義の話をしよう」のイメージでしょうか。その事前学修の拠点が図書館になるのです。書物雑誌・電子ジャーナル・その他の電子媒体による情報を駆使して学生が一人で、あるいはグループでアクティブに学修するための環境と機材を整え、さらにそれをサポートする専門知識を持った人材が常駐する場所が大学附属図書館なのです。

これから大学図書館はさらに進歩します。皆さんのご意見を伺いながら、また、そのご援助のもと、その進歩のために微力ながら尽力したいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

コモンズをご存じですか？

図書館では静粛に自習できる従来型の閲覧室のほか、1Fを多機能エリア「コモンズ」として整備し、多様な学習スタイルをサポートしています。授業やゼミにもご利用いただけますので、先生方もどうぞお気軽にご相談ください。



**コモンズはPC使用OK、
ディスカッションOK、レイアウトフリー、
予約不要の自由な空間です！**

カラフルなミーティングデスク&チェアは移動しやすいキャスターつき。ホワイトボードも設置され、ディスカッションに最適です。1Fは無線LANで持ち込みPCも利用でき、ペットボトルなどフタの閉められる飲料可のリラックスできる環境です。

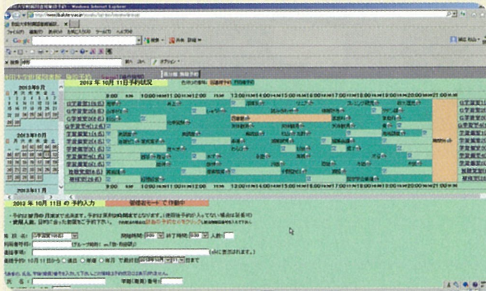
* 缶、紙パックなどフタのできない飲料はコモンズへは持ち込みいただけません。2Fサイレントフロアは飲食、PC使用ともに禁じられておりますのでご協力お願いいたします。



▲分館コモンズ



◀本館コモンズ

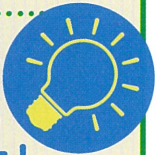


▲施設予約画面



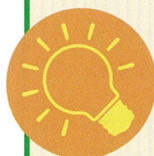
分館グループ学習室▶

**学習室・個室等は
いつでもどこからでも
予約可能なWeb申込みです！**



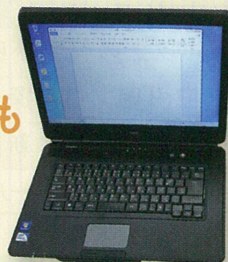
ミーティング・勉強会には「グループ学習室」、会議・プレゼンにも使える「研修室」、自分だけの空間にこもりたい人の「学習個室」etc…。リピーター続出、いつも予約でいっぱい。図書館HPから各室の空き状況確認や予約を取ることができますのであなたも是非！人数や用途に合わせてお好みの部屋をお選びください。

**PCコーナーや
貸出機器も
あります！**



PCコーナーのPCは総合情報処理センター（教職員はAU-CIS）のID,PWでログインできます。ノートPC、iPad、プロジェクタなどの機器貸出も行っておりますのでどうぞご活用ください。

* 貸出機器は館内利用のみです。



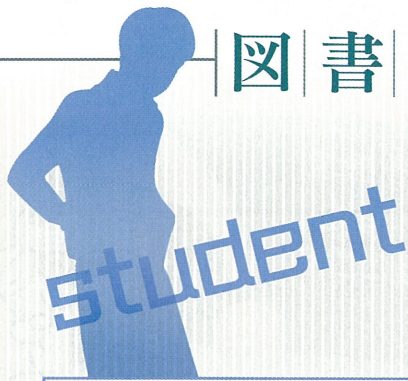
◀貸出機器



▼本館PCコーナー



図書館講習会のご案内



学生

- レポートに必要な情報はGoogleで検索すればいいし、Wikipediaは便利だなあ。
- 卒論執筆に必要な文献を探してもなかなか見つからない…困った。

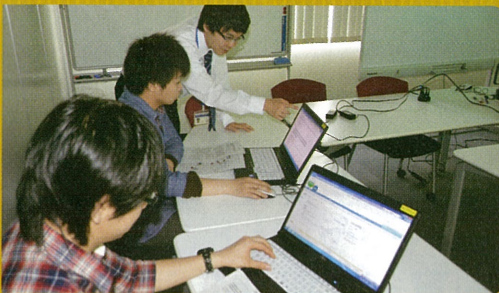
レポート・
卒論作成、
提出時の
学生・教員
心の声



教員

- きちんとした信頼性の高い資料を読んで、レポートを書いてきてほしい。
- レポートなのに、感想文が来たよ…苦笑

レポート作成講習会



- GoogleでヒットしたwebページやWikipediaの記事を根拠にレポート作成するあなたに、本来利用すべき信頼性の高い図書館の資料の使い方をレポートの作成過程とともにご紹介します。
- また、レポートの構成や参考文献の書き方等、レポートを書く際の基本的なルールを学びましょう。

文献収集講習会



- 文献検索Webサイトで検索すれば、欲しい文献は簡単に入手できるでしょうか？
- そんな簡単ではありません！登録文献はもはや何千万件規模！
- そこから自分の欲しい文献を探し出すには検索の工夫が必要不可欠です。
- レポート・卒論・修論執筆に必須の文献集めのために、講習会で入手法を学びましょう。

講習名	講習内容
国内論文の探し方	日本語論文の検索・入手法。1500万件以上の論文から探すテクニックあり。
外国論文の探し方	英語論文の検索・入手法。引用文献・被引用文献も探せます。
新聞記事の探し方	朝日新聞の記事の検索・入手法。図書館にある他の新聞もご紹介。
レポート作成法	参考文献の書き方等、レポートの作成の基本的なルールを学びます。

詳しい日程・申込み方法等は図書館HPか図書館内掲示をご確認ください。

さらに…

ご希望があれば個別に講習会を行います！
研究室やゼミ・クラス単位等、お気軽にご相談ください。
時間や場所の調整に応じますので、右記担当宛にお問い合わせください。

お問合せ

図書館・情報推進課 学術企画担当
e-mail:kikaku@lib.akita-u.ac.jp
内線：2272

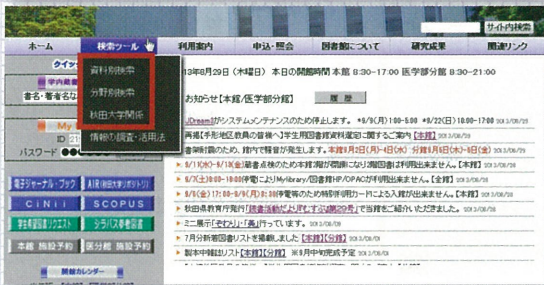


電子的な研究・学習資源をどしどし ご利用ください

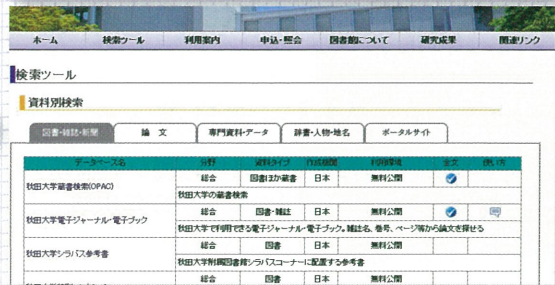
大学で契約しているため、研究室等の学内ネットワークから利用できる、便利なWeb検索ツールがあります。

図書館HPでは、これら検索ツールを一覧表にまとめ、リンクをクリックすれば簡単にアクセスできるようにしました！

図書館HP(<http://lib.akita-u.ac.jp/>)



検索ツール一覧表ページ



よく利用される検索ツールの例

こんな時は	この検索ツール！
国内の様々な分野の論文を探したい！	Cinii Articles
英語で世界の様々な分野の論文を探したい！	SCOPUS
日本語で国内外の科学技術関係の論文を探したい！	JDreamIII
日本の医学・薬学分野の論文を探したい！	医学中央雑誌
1945年以降の朝日新聞を読みたい！	聞蔵IIビジュアル

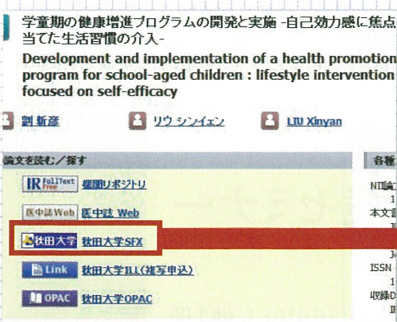


探した論文を入手できるようにナビゲートするシステム(秋田大学SFX)も充実！

検索結果の[青アイコン] をクリックすればナビゲートページへ! (*学内LANからのみ利用可能)

Cinii Articlesの論文情報ページからのナビゲート例

Ciniiの論文情報ページ



ナビゲートページ



[ナビゲート画面の説明]

①をクリック

→電子ジャーナル提供サイトに移動

②をクリック

→掲載資料が秋田大学図書館にあるか検索

③をクリック

→学外文献複写申込ページに移動

本学教職員等 著作寄贈図書

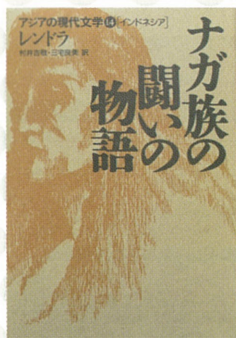
平成24年9月～平成25年8月受入

本館所蔵図書は
「2階F-秋田大学コーナー」にあります。

本学教職員が著し、寄贈されたものです。
ありがとうございました。

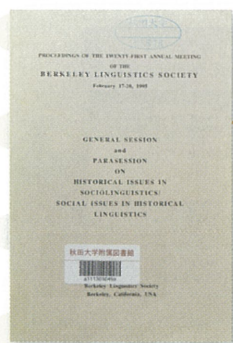
図書館では本学教職員の著作物(単独著書、共著書、編著書、訳書、分担執筆、学位論文)を積極的に収集し、利用に供しています。

出版の折にはご寄贈くださるようお願いいたします。



三宅良美 共訳

『ナガ族の闘いの物語』
めこん, 1997年出版
929.42||R27



三宅良美 分担執筆

『Proceedings of the
Twenty-first Annual Meeting
of the Berkeley Linguistics
Society』
February 17-20, 1995
804||B38||V.21

高大接続テキスト

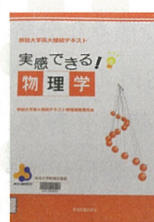
[秋田大学教育推進総合センター]



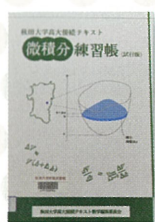
自分の頭で考える
生物実験
河又邦彦 他
460.75||Ko17



化学の基礎 Q and A
岩田吉弘 他
430||Ko17



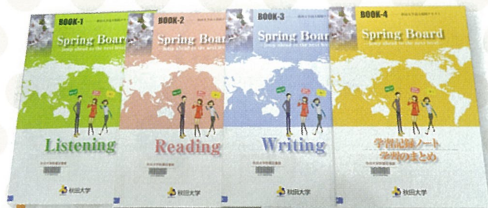
実感できる! 物理学
山口留美子 他
420||Ko17



微積分練習帳
(試行版)
小林真人 他
413.3||Ko17



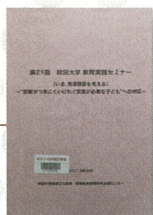
復習・確認テキスト
「情報」(試行版)
林良雄 他
007||Ko17



Listening Reading Writing
学習記録ノート・学習のまとめ
佐々木雅子 他
830||Ko17||v.1～v.4

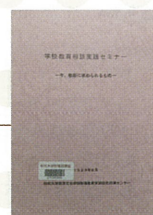
秋田大学 教育実践セミナー

370.4||J54||v.21 他14冊



学校教育 相談実践セミナー

370.4||J54||v.1 他1冊



図書館 職員紹介

着任に
寄せて

「ライブラリアン【librarian】」

図書館・情報推進課長 大沼 忠弘



「ライブラリアン」とは、図書館司書、図書館員、専門的文献を管理する者、その責任者を指す。

秋田大学附属図書館は大学発足の年、昭和24年12月に設置されており、大学の歴史と共に歩んできている。大学図書館の主な業務は、教育・研究に必要な図書、学術雑誌及び視聴覚資料を系統的に備え、資料の収集・整理・提供を行っている。また、図書システムを整備し、学術情報の提供を行っているほか、大学図書館間との協力・連携に努めるものとして、これらの機能を十分に発揮させるために必要な専門的職員・専任職員集団、いわゆるライブラリアンがその業務にあたっている。

昨今、大学図書館に期待される役割は、従来の図書の貸出中心の業務から、学修環境の整備と学修者への人的支援に大きく変化している。そのひとつはアクティブ・ラーニング(学生の主体的・積極的・行動型の学習形態)を中心とした、学生がお互いに議論しあうようなスペース、自修学習できるような場の提供にある。この考え方は、2005年頃から米国・英国の大学図書館で登場した新しいスタイルで、国内でもいくつかの大学で導入され始めた。また、中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転

換に向けて」においては、「生涯にわたって学び続ける力、主体的に考える力を持った人材」を育成するためには、「教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し、解を見いだしていく能動的学修への転換が必要」と指摘されている。

秋田大学附属図書館でも本館平成23年度、分館24年度にはアクティブ・ラーニングが可能となるラーニング・コモンズ(自修及びグループ学習の場)をオープンしており、ラーニング・コモンズ改修前と比べると約2倍の入館者数になっている。また、従来の講義を受けて知識を得る「受身」型の一方向授業から「問題解決」型の双方向授業、ディスカッション、ディベート型学習方法等の学習スタイルに変化できるよう環境整備を日々行っている。更に今後は、グローバル化を見据えた自立型外国語学習、ICT教育・学習を見据えたビジュアル学習及びサポート展開が必要になると思われ、益々図書館の役割について重要度が高くなり、戦略的に事業展開する時代を迎えている。

ライブラリアンもこれからは、「ハイパー・ライブラリアン【hyper-librarian】」に進化する必要がある。

new face

新人紹介

図書情報担当 佐藤 玲奈

皆さま初めまして、図書情報担当の佐藤玲奈と申します。普段は図書の受入や、先生方から承りました購入依頼図書と学生リクエスト図書の発注を主にしております。また、週に2回はサービスデスクにおりますので、お気軽に声をかけていただければ嬉しいです。

生まれは男鹿で、大学時代は仙台に住んでおりました。本は芥川やKafka、Wedekind、映画はDavid Lynchの作品を愛してやみません。また、絵画鑑賞も趣味の一つです。今年はChagall、来年はMuchaを見に行く予定ですが、いつかはBeardsleyの原画を見に行きたいと夢見ております。

少しでも利用者の方々が快適に学習・研究することができるよう、微力ながら一生懸命サポートさせていただきますのでこれからどうぞよろしくお願いたします。



附属図書館の1年

附属図書館の業務・トピックの一部を紹介します。



当館職員が東北地区
大学図書館協議会より表彰



中学生の職場体験を受入



医学部分館リニューアル



学生による選書を実施



ミニ展示
「学生選書図書」

貴重書展示
「汚れちまった
悲しき図書たち」



ミニ展示
「シェイクスピア」「天地明察」



貴重書展示
「復刻初版でみる明治～昭和の詩歌」

ミニ展示

「はじめての秋田」
「はじめての大学生活」



貴重書展示

当館所蔵の「18世紀シェイクスピア・コレクション」を展示しました。全国的にも貴重なコレクションです。



英語・
キャリアサポート
コーナーを新設

昨年度のミニ展示で最も好評だったテーマ「英語」「就職」に関する図書をまとめました。

10月
2012年

11月

12月

2013年

1月

2月

3月



情報リテラシーに
関する授業を実施

「情報と知識・技術I
～実際に役立つ学習技術～
(後期前半および前期前半)」



SpringerLinkを
導入

Springer社の電子ジャーナル
1700タイトルが利用可能に
なりました。



データベース利用講習会を開催
「CiNii編」「JDream編」「SCOPUS編」



ホームページリニューアル



Science
電子版を
創刊号から
導入



新聞情報の調べ方講習会を開催



秋田県遺跡資料リポジトリ公開



ライブラリツアーを実施



各講座・研究室等へ
購入図書の推薦を依頼



秋田県立美術館へ
所蔵資料を貸出



学術雑誌の
製本作業を実施



蔵書点検を
実施



雑誌の購読調査を実施



ミニ展示
「最近話題の本」「アフリカ」



ミニ展示
「ぞわり」「美」

ようこそ!!
秋田大学附属図書館へ
Akita University Library



図書館
パンフレットを
作成

新入生が戸惑うことなく図
書館で学習出来るように利
用方法などを説明したパン
フレットを作成しました。



子ども見学デー
図書館コースを
実施



12名の児童が、図書館ツ
アー、本探しスタンプラ
リー、iPadで読書、メモ帳作
りを楽しみました。

4月

5月

6月

7月

8月

9月



学習サポーター
新メンバー

学生が学生の学習相談を
受ける学習サポートデスク
開設しています。4月から新
たなメンバーを迎えました。



書架耐震工事を
実施



書架を固定し揺れを感知
すると自動的に上がるバー
を設置して地震に備えまし
た。



学習サポーターによる講習会を企画
「Wordでレポート」「PowerPointでプレゼン」



医学文献検索講習会を開催



レポート作成法講習会を企画



文献検索・入手法講習会を開催
「国内文献編」「海外文献編」「科学技術分野編」



『情報探索ガイドブック2013』を作成

May

JULY

September

あなたの著作物を世界へ発信するチャンスです! ～AIR(秋田大学学術情報リポジトリ)登録のススメ～



秋田大学学術情報リポジトリ

(URL:<http://air.lib.akita-u.ac.jp/dspace/>)とは…

秋田大学の構成員が作成した論文等知的生産物を電子化して保存し、インターネットにより全世界に無料で公開するWebサイト。

リポジトリの構築により

- 論文等を無料で公開することで、誰でも学術情報にアクセスできる環境の構築に寄与する。
- 大学の知的生産物を電子的に保存することで、永続的な保存を目指す。



でも、リポジトリで公開しても、リポジトリなんて、あまり知られていないからほとんどアクセスされないんじゃないか…



いえ、登録著作物にはたくさんアクセスされています!



- ① Google Scholarで論文タイトル等を検索すれば、該当論文のページがヒットします。
- ② 論文検索WebサイトCiNiiArticlesの検索結果にリンクが追加され、論文情報からアクセスできます。

結果、著作物の被引用件数が増える可能性も高くなります!

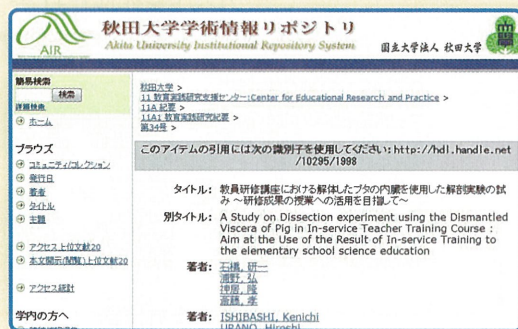
申込方法等詳細は、下記ページをご参照ください。

URL:<http://www.lib.akita-u.ac.jp/contents5/kenkyu.htm>
(秋田大学附属図書館HPのトップページ上の「研究成果」タブをクリック)

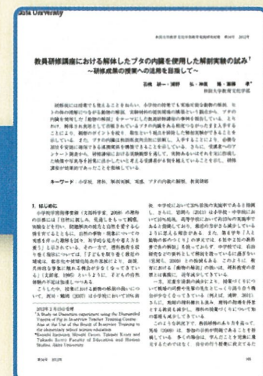
お問合せ

図書館・情報推進課 学術企画担当
e-mail:kikaku@lib.akita-u.ac.jp 内線:2272

CiNii Articlesの検索結果からのアクセスの例



論文をpdfで入手!!



編集後記

マイナーチェンジしてお送りした今回の図書館だよりはいかがだったでしょうか。図書館の使命や機能や業務についてなるべく多くの方に知ってもらいたくこのような紙面にしました。

図書館は学生の自習(または教員の調査)のためだけの場とお思いの方は、ぜひぜひ一度だけでも足をお運びください。これまでのイメージが一変されると幸いです。

図書館職員は、図書館が皆さんの研学の拠点となれるよう精進して参ります。これからも図書館をどうぞよろしくお願ひします。



図書館だより 第71号

2013年10月1日発行

編集 ■ 秋田大学附属図書館出版物編集委員会

発行者 ■ 秋田大学附属図書館

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

TEL本館018-889-2279 分館018-884-6052

FAX本館018-832-4917 分館018-884-6252

E-mail: 本館 riyos@lib.akita-u.ac.jp

分館 ibun@lib.akita-u.ac.jp